

地域福祉委員会

議案第87号 鈴鹿市臨時外来検査センター条例の制定について

冬季に向けてPCR検査体制のさらなる強化

(概要) 三重県からの委託を受けて鈴鹿市医師会が運営している「鈴鹿市PCR検査センター」を本市が実施主体となり、「鈴鹿市臨時外来検査センター」として設置するため、条例を制定しようとするもの。

質疑 鈴鹿市臨時外来検査センターの今後の位置付け、具体的な体制や人員配置はどのようにするのか。

答弁 独立した診療所として設置し、市が主体的に運営を行っていく。11月1日から1日最大40人までの検査が可能となるよう、増大する事務への対応として、庁内での新たな人員配置の検討や、医療事務のできる職員を雇用するなどにより体制の強化をしていく。

予算決算委員会

予算・決算の審査は、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会

議案第69号 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算（第5号）

救急出動で必要となる新型コロナウイルス感染防止資器材を購入

○救急活動費 備品購入費 99万円／事務費 1,399万8,000円

(概要) 新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波を警戒し、救急出動で必要となる感染防止衣、N95マスクなどの感染防止資器材を確保し、また、再利用できるリユースタイプの感染防止衣を効果的に滅菌できる滅菌ロッカーを購入するための費用を計上するもの。

質疑 感染防止資器材は、どのようなものをどれくらい購入するのか。また、滅菌ロッカーはどのように運用し、どれくらい滅菌できるのか。

答弁 感染防止衣4,500着、感染防止衣（リユースタイプ）205着、N95マスク4,500枚、感染防止用ゴーグル100個を購入する。使い捨ての感染防止衣とN95マスクは、救急出動1,500回分になる。滅菌ロッカーについては6台を購入し、1台で3～4着の感染防止衣を同時に滅菌でき、紫外線により約99%滅菌できる。



感染防止衣(左がリユースタイプ)